

高校生議員代表まとめあいさつ（決意表明）

決意表明者	中村女子高等学校 2年 驛野 紗和
-------	-------------------

中村女子高等学校の驛野紗和です。

本日は、第6回やまぐち高校生県議会を開催していただき、本当にありがとうございました。私たち高校生の、県政に関する疑問や意見を述べさせていただく場に立たせてもらえたことは大変有意義な時間となりました。お忙しい中、知事様をはじめ、部局長の皆様方から丁寧な御回答をいただき、心より感謝申し上げます。

私たちは事前学習会にて、山口県の抱える課題について学びました。その課題の中で、特に都市圏への転出や少子高齢化による人口の減少など漠然と分かっていたものも、切実な問題として捉えることができました。

また、近年では女性の社会進出が進み、都市圏への進出は男性より女性の方が多くなっています。女性の活躍する社会は大変よいことなのですが、キャリアを積むにつれ、いや応なく仕事中心の生活となり、結婚より仕事を優先してしまいがちです。その結果、出生率も低下してしまいます。大切なのは、子育てをしながら仕事をする女性を支えるという社会全体の構造を目指すことです。

さらに、現在少しずつ認識され始めた男性の育児休暇を快く認める環境づくりも重要です。このまま、私たち若い世代が現状を放置しておけば100年後の山口県はあらゆる面で衰退していく可能性があります。私たちにはこれを食い止めるためにやらねばならないことがあります。

それは、高校生や若者に県が抱える現状を理解してもらい、話し合えるコミュニティーを増やすことです。高校生や若者ならではの新しい意見を様々な角度から取り入れ、若者も住みやすい県づくりをしていき、私たちが情報の発信者となって、多くの人が「自分のこと」として受け止められるよう積極的に活動することが山口県の活性化に一步近づくのではないかなと感じております。

さらに、それを通して山口県や県政にもっと興味を持つようになると思っています。行く行くは私たちの活動が「やまぐちモデル」として取り上げられるよう、地域を越え、世代を越えて活動していく覚悟です。各年齢層に光が当たるようになり、誰もが暮らしやすく訪れたいと思える山口県になるのが私の願いです。自分も県民の1人という自覚を持ち、地域に根差した活動を続けていくことをお約束いたします。

本日は私たち高校生のために有意義な場を与えていただきありがとうございました。

これをもって御挨拶とさせていただきます。